

○令和3年7月大雨や令和4年8月大雨では県内各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、耳川水系においても事前防災対策を進める必要があります。以下の取組みを実施していくことで、超過洪水発生時の浸水被害を軽減する



稚鮎の放流体験

●グリーンインフラの取組み

- ・河川生物の生態系に配慮した河川維持管理
- ・小学校で稚鮎等の放流体験による河川環境学習



H25.9浸水状況

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川整備（浚渫・樹木伐採含む）
- ・森林整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・田んぼダムの整備
- ・ため池の事前放流
- ・雨水貯留浸透施設の整備 等

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づく防災指針の策定 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップの周知・活用
- ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
- ・避難行動のための情報発信
- ・重要水防箇所の情報共有と県・町・地元による共同点検の実施
- ・要配慮者利用施設の避難訓練実施と避難確保計画の検証と改善の促進
- ・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
- ・水位計・量水標、監視カメラ設置
- ・地域防災マップの作成支援
- ・水防資機材の配備
- ・地域・企業の連携による避難場所の確保
- ・コミュニティタイムラインの作成支援
- ・ハザードマップ・タイムラインを用いた避難訓練の支援
- ・関係者間の情報共有体制の確立と情報伝達訓練の実施
- ・内水ハザードマップの作成 等



ため池の事前放流



森林整備

凡 例	
—	河川浚渫等
■	砂防関係施設
▲	治山施設
—	流域界
- - -	市町境界
▲	河川カメラ
■	水位計

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討などにより変更となる場合があります

● 耳川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中長期】 山林や河道内の適切な維持管理をして行くとともに、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備（浚渫・樹木伐採含む）	福井県 美浜町	[Red arrow]		
	森林整備	福井県 美浜町 れいなん森林組合 森林整備センター等	[Red arrow]		
	砂防関係施設の整備	福井県	[Red arrow]		
	田んぼダムの整備 ため池の事前放流	美浜町	(検討・調整)	[Red arrow]	
	雨水貯留浸透施設の整備	福井県 美浜町	(検討・調整)	[Red arrow]	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく防災指針の策定	美浜町	[Yellow arrow]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県	[Green arrow]		
	防災に関する出前講座	福井県 美浜町	[Green arrow]		
	水防資機材の配備 関係者間の情報共有体制の確立		[Green arrow]		
	地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援 ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	美浜町	[Green arrow]		
グリーンインフラの取組	河川生物の生態系に配慮した河川維持管理 小学校で稚鮎等の放流体験による河川環境学習	福井県 美浜町	[Light Green arrow]		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある